

2017年12月期 第1四半期決算 参考資料

I	サマリー情報	P.1
	① 経営成績	P.1
	② 財政状態	P.1
II	2017年12月期 第1四半期実績	P.2
	① 四半期損益計算書	P.2
	② 製商品別売上高	P.4
	③ 四半期貸借対照表	P.5
	④ 設備投資の状況	P.6
	⑤ 非資金項目	P.6
	⑥ 研究開発の状況	P.6
III	2017年12月期 業績予想	P.7
	① 損益計算書	P.7
	② 製商品別売上高	P.9
	③ 設備投資の状況	P.10
	④ 非資金項目	P.10
	⑤ 配当	P.10
	【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2017年4月27日



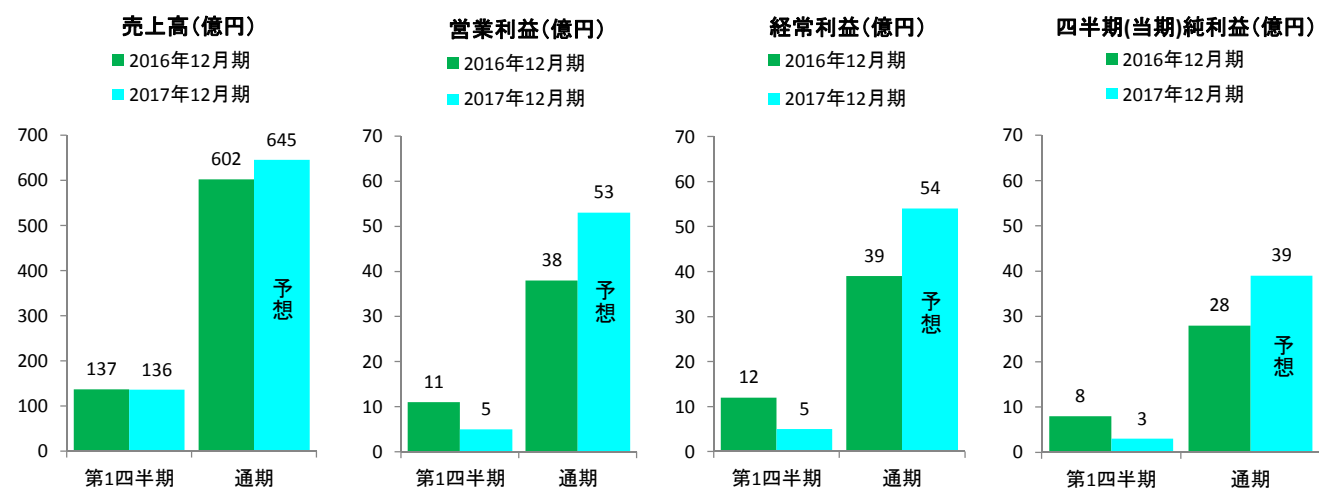
鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

※2017年12月期 業績予想については、2017年2月2日「2016年12月期決算 参考資料」で発表しております予想数値から変更はありません。

(単位:百万円)	2016年12月期 第1四半期 A	2017年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2016年12月期 実績	2017年12月期 予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	13,740	13,608	△131	△1.0	60,206	64,500	21.1
営業利益	1,184	533	△651	△54.9	3,819	5,300	10.1
経常利益	1,223	555	△668	△54.6	3,999	5,400	10.3
四半期(当期)純利益	803	388	△414	△51.6	2,839	3,900	10.0
(参考)							
研究開発費	1,042	1,152	110	10.6	4,654	4,820	23.9
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 28.39	13.85	△14.54		100.41	139.04	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 1.0	0.5	△0.5		3.4	-	
総資産経常利益率	(%) 1.2	0.6	△0.6		4.1	-	
売上高営業利益率	(%) 8.6	3.9	△4.7		6.3	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 0.8	0.4	△0.4		2.9	-	



② 財政状態

(単位:百万円)	2016年12月期 A	2017年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	98,525	97,849	△676	△0.7
純資産	83,556	83,244	△312	△0.4
自己資本比率	(%) 84.8	85.1	0.3	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,978.80	2,967.63	△11.17	

Ⅱ 2017年12月期 第1四半期実績

① 四半期損益計算書

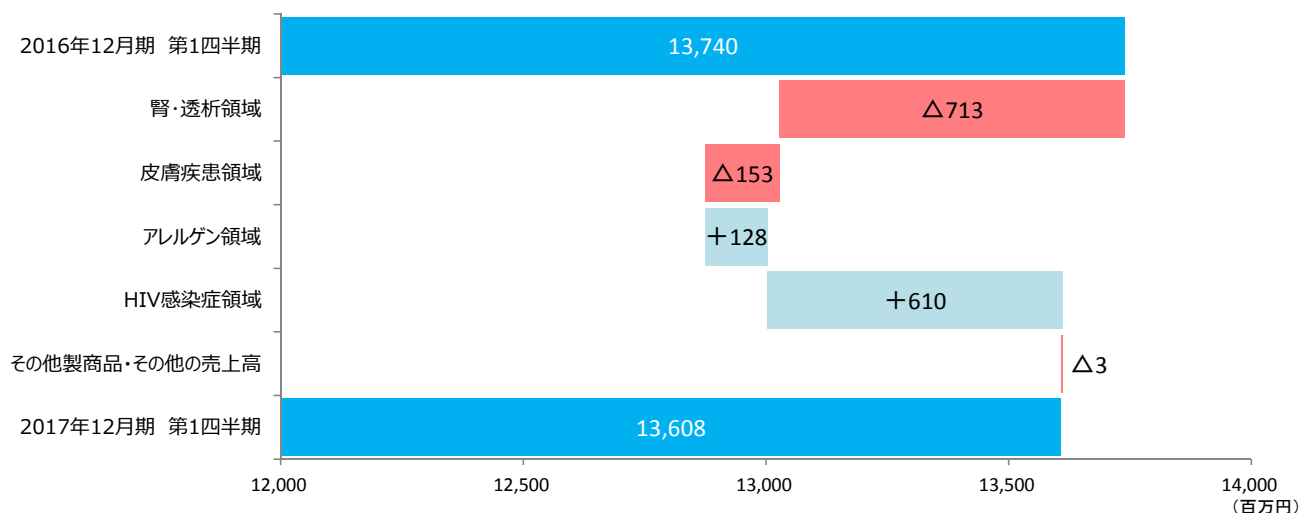
(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
売上高	13,740	13,608	△131	△1.0
製商品売上高	13,609	13,382	△227	△1.7
腎・透析領域	5,829	5,116	△713	△12.2
皮膚疾患領域	2,299	2,145	△153	△6.7
アレルギー領域	302	431	128	42.6
HIV感染症領域	3,761	4,371	610	16.2
その他	1,417	1,317	△99	△7.0
その他の売上高	130	225	95	73.5
売上原価	6,475	6,802	326	5.0
製商品売上原価	6,459	6,788	328	5.1
その他の原価	15	13	△1	△12.3
売上総利益	7,264	6,806	△458	△6.3
販売費及び一般管理費	6,079	6,272	192	3.2
販管費(研究開発費除く)	5,037	5,120	82	1.6
研究開発費	1,042	1,152	110	10.6
営業利益	1,184	533	△651	△54.9
営業外収益	38	22	△15	—
営業外費用	0	1	1	—
経常利益	1,223	555	△668	△54.6
特別損失	14	16	1	—
税引前四半期純利益	1,209	539	△670	△55.4
法人税等	405	150	△255	—
四半期純利益	803	388	△414	△51.6

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2016年12月期	2017年12月期	増減
	第1四半期	第1四半期	
	A	B	
売上原価	47.1	50.0	2.9
販売費及び一般管理費	44.3	46.1	1.8
研究開発費	7.6	8.5	0.9
営業利益	8.6	3.9	△4.7
経常利益	8.9	4.1	△4.8
四半期純利益	5.8	2.9	△2.9

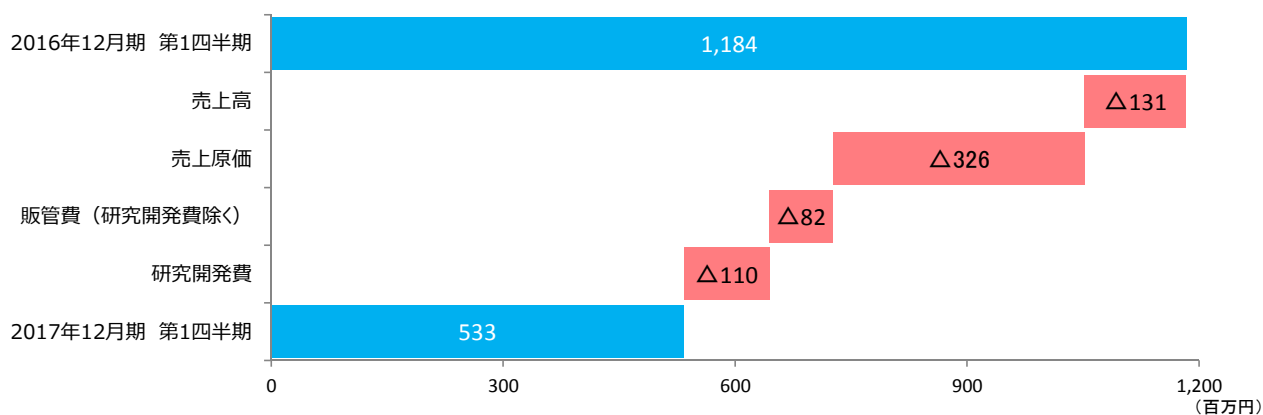
【対前年同期増減要因】

売上高（13,608百万円 対前年同期△131百万円）



主な増減要因				
製商品売上高	：薬価改定（市場拡大再算定含む）による減少、販売数量の伸長による増加			
腎・透析領域	レミツカプセル	△502百万円	注射用フサン	△136百万円
HIV感染症領域	ガンボイヤ配合錠	+1,285百万円	デシコビ配合錠	+1,199百万円
	スタビルド配合錠	△766百万円	ツルバダ配合錠	△1,092百万円
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（533百万円 対前年同期△651百万円）



主な増減要因	
売上原価	：販売数量の伸長による増加
研究開発費	：共同開発費用の増加

経常利益（555百万円 対前年同期△668百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（388百万円 対前年同期△414百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2016年12月期 第1四半期 A	2017年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	13,609	13,382	△227	△1.7
レミッチカプセル	3,255	2,753	△502	△15.4
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	2,890	1,797	△1,092	△37.8
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※1	1,514	1,426	△88	△5.8
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ゲンボイヤ配合錠 ※2	—	1,285	1,285	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
リオナ錠	1,205	1,219	13	1.2
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※3	—	1,199	1,199	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ビオスリー	554	563	8	1.6
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	507	475	△31	△6.3
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	560	424	△136	△24.3
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	338	336	△2	△0.6
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	188	271	82	43.8
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ユリノーム錠 ※1	300	242	△57	△19.0
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
マグセント	237	223	△14	△6.1
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ゼフナート	209	209	△0	△0.0
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
スタリビルド配合錠	814	48	△766	△94.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
その他製商品	1,032	906	△126	△12.3

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2016年12月期 第1四半期 A	2017年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	3,825	3,631	△194	△5.1
自社品比率 (%)	28.1	27.1	△1.0	—

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第1四半期 B			
流動資産	80,123	79,310	△812	△1.0	81.1
現金及び預金	22,393	20,266	△2,127		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	7,091	6,477	△614		
受取手形及び売掛金	26,560	25,060	△1,500		
有価証券	11,102	13,706	2,603		
たな卸資産	10,606	11,205	598		
その他	2,368	2,595	227		
固定資産	18,401	18,538	136	0.7	18.9
有形固定資産	5,752	5,577	△175		
無形固定資産	896	884	△12		
投資その他の資産	11,752	12,076	324		
投資有価証券	3,877	4,236	359		
長期前払費用	6,486	6,432	△53		
その他	1,389	1,407	18		
資産合計	98,525	97,849	△676	△0.7	100.0
流動負債	13,310	13,000	△310	△2.3	13.3
買掛金	6,698	7,169	471		
未払金	3,178	3,055	△122		
未払法人税等	767	221	△545		
賞与引当金	676	1,310	634		
その他	1,990	1,242	△748		
固定負債	1,658	1,604	△53	△3.2	1.6
負債合計	14,969	14,605	△364	△2.4	14.9
株主資本	82,993	82,708	△284	△0.3	84.5
評価・換算差額等	558	529	△28	△5.1	0.6
新株予約権	4	5	1	25.7	0.0
純資産合計	83,556	83,244	△312	△0.4	85.1
負債純資産合計	98,525	97,849	△676	△0.7	100.0

主な増減要因

(流動資産)

受取手形及び売掛金	: 売上高の減少による減少
有価証券	: 金銭信託の取得による増加
たな卸資産	: 新製品の増加

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
設備投資額	136	128	△8	△6.2
有形固定資産	73	56	△17	△23.8
無形固定資産	62	72	9	14.4

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
減価償却費	347	299	△48	△13.9
長期前払費用償却費	251	262	11	4.4

⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤		Phase II				<ul style="list-style-type: none"> ・ケリックス社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 ・日本たばこ産業(株)が2014年1月17日に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠		Phase II / III 終了※				<ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		<ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2017年3月24日に製造販売承認申請
TO-206	スギ花粉症 (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		<ul style="list-style-type: none"> ・自社開発 ・2015年12月25日に製造販売承認申請

前回公表時(2017年2月2日)からの変更点

・TO-203(小児アレルギー性鼻炎)の国内製造販売承認申請

上記のほか、以下の契約を締結しております。

・2016年8月 Menlo Therapeutics社が開発を進めているニューロキニン1(NK-1)受容体アンタゴニスト(国際一般名: serlopitant)の日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約(日本たばこ産業(株)との共同開発)
 ・2016年10月 日本たばこ産業(株)が日本での臨床開発を実施しているJAK阻害剤「JTE-052」(開発段階: Phase II)皮膚外用剤の日本における共同開発及び販売に関する契約

Ⅲ 2017年12月期 業績予想

※2017年12月期 業績予想については、2017年2月2日「2016年12月期決算 参考資料」で発表しております予想数値から変更はありません。

① 損益計算書

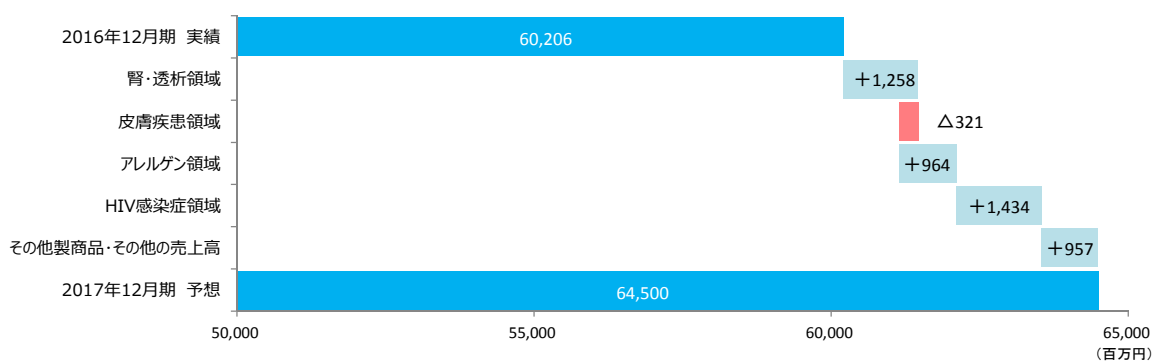
(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
売上高	60,206	64,500	4,293	7.1
製商品売上高	59,620	62,900	3,279	5.5
腎・透析領域	25,141	26,400	1,258	5.0
皮膚疾患領域	9,811	9,490	△321	△3.3
アレルギー領域	1,485	2,450	964	64.9
HIV感染症領域	17,225	18,660	1,434	8.3
その他	5,956	5,900	△56	△0.9
その他の売上高	586	1,600	1,013	173.0
売上原価	30,287	31,700	1,412	4.7
売上総利益	29,919	32,800	2,880	9.6
販売費及び一般管理費	26,099	27,500	1,400	5.4
販管費(研究開発費除く)	21,445	22,680	1,234	5.8
研究開発費	4,654	4,820	165	3.6
営業利益	3,819	5,300	1,480	38.8
経常利益	3,999	5,400	1,400	35.0
当期純利益	2,839	3,900	1,060	37.3

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2016年12月期	2017年12月期	増減 B-A
	実績 A	予想 B	
売上原価	50.3	49.1	△1.2
販売費及び一般管理費	43.4	42.7	△0.8
研究開発費	7.7	7.5	△0.2
営業利益	6.3	8.2	1.9
経常利益	6.6	8.4	1.8
当期純利益	4.7	6.0	1.3

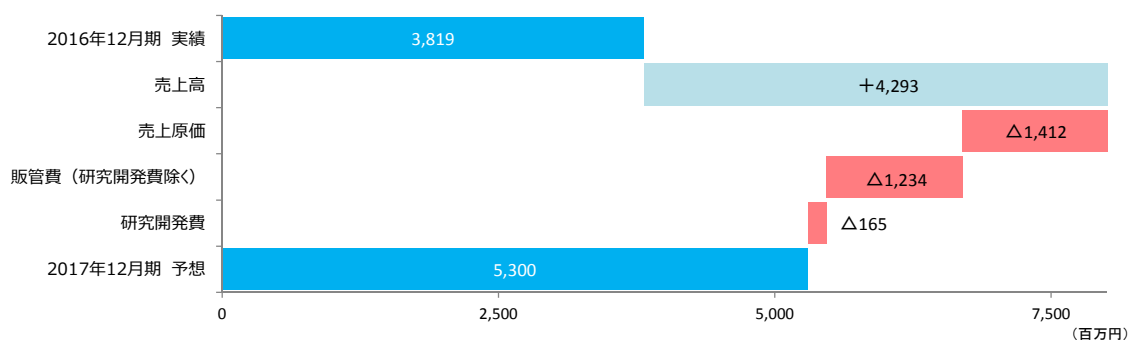
【対前期実績増減要因】

売上高（64,500百万円 対前期実績+4,293百万円）



主な増減要因				
腎・透析領域	: リオナ錠	+1,915百万円、	注射用アサン	Δ362百万円
皮膚疾患領域	: アンテベート	Δ247百万円		
アレルゲン領域	: シダトレン スギ花粉舌下液	+322百万円		
HIV感染症領域	: デンコビ配合錠	+6,750百万円、	ゲンボイヤ配合錠	+3,724百万円
	: ツルバダ配合錠	Δ7,014百万円、	スタリビルド配合錠	Δ1,971百万円
その他製商品・その他の売上高	: コ・プロモーション収入	+1,009百万円		
※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（5,300百万円 対前期実績+1,480百万円）



主な増減要因	
売上原価	: 売上高の増加
販管費 (研究開発費除く)	: 販売促進費の増加

経常利益（5,400百万円 対前期実績+1,400百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（3,900百万円 対前期実績+1,060百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2016年12月期 実績 A	2017年12月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	59,620	62,900	3,279	5.5
レミッチ	13,645	13,600	△45	△0.3
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
リオナ錠	5,634	7,550	1,915	34.0
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※3	—	6,750	6,750	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※1	6,277	6,030	△247	△3.9
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ツルバダ配合錠	12,754	5,740	△7,014	△55.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ゲンボイヤ配合錠 ※2	1,865	5,590	3,724	199.6
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ビオスリー	2,455	2,550	94	3.9
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	2,178	2,150	△28	△1.3
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	2,462	2,100	△362	△14.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	1,352	1,360	7	0.5
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ゼフナート	1,275	1,360	84	6.6
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
シグトレン スギ花粉舌下液 ※1	937	1,260	322	34.4
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
マグセント	1,165	1,200	34	2.9
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
コリノーム錠 ※1	1,219	1,000	△219	△18.0
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠	2,371	400	△1,971	△83.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
その他製商品	4,023	4,260	236	5.9

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2016年12月期 実績 A	2017年12月期 予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	16,316	16,440	123	0.8
自社品比率 (%)	27.4	26.1	△1.3	—

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
設備投資額	891	1,192	300	33.7
有形固定資産	644	964	319	49.5
無形固定資産	246	228	△18	△7.7

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
減価償却費	1,339	1,240	△99	△7.4
長期前払費用償却費	1,018	1,056	37	3.6

⑤ 配当

		2016年12月期	2017年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
		実績 A	予想 B		
1株当たり配当金	(円)	48	48	0	0.0
配当性向	(%)	47.8	34.5	△13.3	-

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起